

# HP Operations Orchestration

Windows および Linux オペレーティングシステム 向け

Base コンテンツパックバージョン 1.1.2

HP 00 ソフトウェアバージョン 10.x 向け

## Base リリースノート

ドキュメントリリース日: 2014 年 5 月 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2014 年 5 月



## ご注意

## 保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

## 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

## 著作権について

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

## 商標について

Adobe™ は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインターフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

AMD、AMD Arrow ロゴはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Google™ およびGoogle Maps™ は Google Inc.の商標です。

Intel®、Itanium®、Pentium®、およびIntel® Xeon® は、Intel Corporationの米国およびその他の国の登録商標です。

Javaは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows NT®, Windows® XP, およびWindows Vista® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracleは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

## ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログインページの **[New users - please register]** リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

## サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/hpsupport>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

[http://h20230.www2.hp.com/new\\_access\\_levels.jsp](http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp)

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

## 目次

Base リリースノート .....	1
目次 .....	4
概要 .....	5
コンテンツパックの統合 .....	5
新機能 .....	7
Base コンテンツパックのデプロイ .....	9
修正された不具合 .....	10
既知の問題 .....	13

## 概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration Base コンテンツパック 1.1.2 リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれています。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- fr - フランス語
- de - ドイツ語
- ja - 日本語
- es - スペイン語
- zh\_CN - 簡体字中国語

Base コンテンツパック 1.1.2 は累積的なコンテンツパックです。

## コンテンツパックの統合

次の表に、Base コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合名	バージョン
Active Directory	Windows 2000、2003、2008、2008 R2、2012、2012 R2
AIX	AIX 5.3
Ant	
FreeBSD	6.3、7.0
JDBC	
電子メール	POP3、IMAP
Excel	1997、2000、2003、2007、2010
ファイルシステム	
Groovy	2.0.2

統合名	バージョン
HP HP/UX	B.11.31
HTTP クライアント	
SOAP	
JVM	5.0、 6.0
LDAP	
MS Cluster	Windows 2003、 Windows 2008、 Windows 2008 R2
ネットワーク	
Red Hat	ES 3、 AS 3、 ES 4、 AS 4、 ES 5、 ES 6.2
Perl	
PowerShell	1.0、 2.0、 3.0
印刷	
リモートコマンド実行	
リモートファイル転送	
Sharepoint	2003、 2007
SNMP	1、 2、 3
Solaris	10
SUSE Linux	openSUSE 10.0、 SUSE Enterprise Server 10 SP1、 openSUSE 11.0
Windows	2003、 XP、 2008、 2008 R2、 2012、 2012 R2
WMI	1.x
WS-Management	1.0.0

注: 次の統合には基本的なオペレーションだけが含まれます。高度な機能については、対応する専用コンテンツパックを参照してください。

統合名	専用コンテンツパック
JDBC	Databases
FreeBSD、HP-UX、Red Hat、Linux、Solaris、SUSE Linux、Windows	Operating Systems、Infrastructure Orchestration
電子メール	Business Applications

## 新機能

### バージョン 1.1.2

**Windows > Remote Command execution:** Base 1.0.142 で発見された、デフォルトタイムアウトが 10 分から 90 秒に変更されているリグレッションは修正されました。現在のデフォルトタイムアウトは 10 分です。

### バージョン 1.1.1

- **iIPv6 のサポート:** 「Operations」フォルダーが IPv6 プロトコルに関して検証されました。
- 新しいオペレーション「**Extract Zip**」が追加されました。このオペレーションは、指定された場所に zip アーカイブを展開します。
- 既存の「Create Zip」オペレーションが拡張され、ワイルドカードによる zip フィルターがサポートされるようになりました。サポートされるワイルドカードは、アスタリスク (\*) と疑問符 (?) です。
- 「Operations/Remote Command Execution/SSH/Shared Sessions」に、新しいいくつかの SSH オペレーションが追加されました。これらのオペレーションは、グローバルセッション (サブフローに存在するセッション) をサポートします。さらに、1024 ビットより長いキーをサポートする新しいセキュリティプロバイダー (JSafe RSA) を使用します。
- 「XSL Transformation」オペレーションが拡張され、テンプレートと XML の値を定数入力として受け取れるようになりました。
- **SQL データベースタイプ**
  - 「SQLCommand」、「SQLQuery」、「SQLQueryAllRows」、「SQLQueryLOB」、「SQLQueryTabular」、「SQLScript」で、隠し入力 **dbClass** と **dbURL** が利用できるようになりました。これらの入力は、[データベースの種類] 選択リストで [カスタムアイテム] を選択した場合に使用可能です。
  - JDBC フォルダーの説明が、カスタムの注記を含むように更新されました。

- 新しいカスタムアイテムが[構成] > [選択リスト] > [SQL データベースの種類] に追加されました。
- 新しいオペレーション「XML Attribute Filter」(00 9.x に存在したものが、「Utility Operations > Deprecated」に追加されました。
- 新しいオペレーション「Manual with Result」(00 9.x に存在したものが、「Utility Operations > Deprecated」に追加されました。
- 新しいテンプレートフロー「Blank Flow」(00 9.x に存在したものが、「Template」に追加されました。これは現在有効なフロー(空白ではない)であり、ステップ「Do Nothing」を持ち、2つの応答 **Success** と **Failure** を返します。
- すべての Java、LDAP、AD オペレーションに、SSL のサポートが追加されました。
- フローとオペレーションの説明(「Accelerator Packs > Active Directory」)が修正され、改善されました。



## Base コンテンツパックのデプロイ

HP Operations Orchestration Base コンテンツパック 1.1.2 は、既存の 00 プラットフォームバージョン 10.02 またはそれ以降にデプロイすることを推奨します。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

**注:** コンテンツパックのアンインストール/ロールバックの方法については、『HP 00 Central ユーザーガイド』の「前回のデプロイメントへのロールバック」を参照してください。

## 修正された不具合

修正された不具合の参照番号は、QCCR (Quality Center Change Request) 番号です。

修正された不具合の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C1669	SQL オペレーションが名前付きインスタンスに対して正しく動作しないように見える	SQL Server 2005 または 2008 に対して Windows 認証を使用する場合、 「/Library/Operations/ Databases/Microsoft SQL」の下の「Sql Command」、「Sql Query」、「Sql Script」オペレーションでエラーが発生します。
QCCR8C7796	「Remote Command Execution」オペレーションのコマンドで山かっこ ">" が使用できない	「Remote Command Execution」オペレーションのコマンドで山かっこ ">" が使用できません。コマンドで山かっこ ">" を使用すると、ステップの応答は "success" ですが、ステップの "Result" は空白です。
QCCR8C20738	サーバー上で Windows 認証の種類として "negotiate" と "ntlm" の両方が有効になっている場合、HTTP Client の NTLM 認証が失敗する	CP11 で、サーバー上で Windows 認証の種類として "negotiate" と "ntlm" の両方が有効になっている場合、HTTP Client の NTLM 認証が失敗します。  HTTP クライアントベースのオペレーションが次のエラーを返します。  "Wrong username or password was provided".  この問題は現在のリリースでは修正されています。
QCCR1D146496	「SQL Query」オペレーションが入力を小文字に変換する	Sybase データベースでは、大文字と小文字が区別されます。顧客がテーブルに大文字の名前を付けた場合、「SQL Query」(java ベース) オペレーションが名前を小文字に変換するため、エラーが発生します。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C20968	「SSHCommand」オペレーションがIPv6 アドレスを受け付けない	「SSHCommand」でIPv6 アドレスを使用すると、オペレーションは失敗し、エラーが発生します。
QCCR8C21337	Excel オペレーション「Modify Cell」を変更して、行と列の区切り文字を別の文字に定義できるようにするか、非推奨のオペレーション「Modify Excel Data」をコンテンツパック7で動作するように修正する	「Library\Operations\File System\Windows only\Excel」の下にある新しいオペレーション「Modify Cell」は、";"を値の列区切り文字としてしか使用できませんでした。  新しいオペレーション「Modify Cell」は、内容の一部としてのカンマを受け付けられるようになりました。非推奨になった「Modify Excel Data」と同様に、ユーザーはcolumnDelimiterまたはrowDelimiterを選択できるようになりました。
QCCR8C21932	HP コンテンツの重複する l10n キー	Base および Cloud コンテンツをデプロイする際に、重複するキーが生成されます。
QCCR8C22178	CP13 で、重複の結果として、CP13 の一部を Central にデプロイできない。	すべてのコンテンツパックには、説明、トランジション、プロンプトに関連するすべてのデータのための cp.properties ファイルが含まれます。これらのファイルには、対応するフローの UUID が記録されています。これらのファイルが、Studio のバグ 22178 のために破損していました。22178.
QCCR8C22663	RAS が利用できない場合、「Read File」でスクリプトレットエラーが発生する	RAS が利用できない場合、「Read File」(「/Library/Operations/File System/Windows Only/Read File」)がスクリプトレットエラーで失敗します。フローが Central で呼び出された場合、フローのステータスは "Not executed" に変わり、エラーメッセージが Central_wrapper.log に記録されません。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C22987	フローの実行時にウィンドウのタイトルバーにオペレーション名でなく「Do Nothing」が表示される	Central ライブラリでフローを選択して実行した場合、タイトルバーにはフロー名が表示されますが、[実行] をクリックしてフローを起動した後で、ポップアップ表示されたウィンドウのタイトルバーに「Do Nothing」が表示されます。
QCCR8C23023	InvokeMethodV2 で java.lang.NoClassDefFoundError: nu/xom/ParentNode が発生する	「Invoke Method」オペレーションに必要なサードパーティ依存関係が不足しています。
QCCR8C23211	「Remote command execution」オペレーションの説明の更新	「Remote command execution」および「Remote command」オペレーションの説明を更新して、オペレーションで偽装レベル「偽装」が使用されるため、マルチホップ WMI コマンド (dsrdiag など) がサポートされないことを記述する必要があります。「Remote command」の場合、これが当てはまるのは WMI を使用する場合だけです。
QCCR8C23762	「Base CP\Library\ Accelerator Packs \Operating Systems\Windows」フォルダーが誤解を招く	Base CP には、「Accelerator Packs \Operating Systems\Windows」フォルダーがあります。このフォルダーには「Operating Systems\Windows」のみのフローが含まれるため、誤解を招きません。他のオペレーティングシステムのフローは、Operating Systems CP または「Base CP\Operations\Operating Systems」にあるため、ユーザーは混乱するおそれがあります。
QCCR8C24677	「Windows/Remote Command Execution」が 90 秒でタイムアウトする	Base 1.0.142 でデフォルトタイムアウトが 10 分から 90 秒に変更されたために発生したリグレッションです。現在のデフォルトタイムアウトは 10 分です。

## 既知の問題

既知の問題の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

### HTTP クライアントが接続を再利用しないため、パフォーマンスボトルネックが発生する

各 00 RAS オペレーションは、次の点を考慮して 1 つのユニットとして設計されています。

- 実行時にすべてのリソースが取得される
- オペレーションの完了時に、取得されたリソースは解放される

ただし、何千ものステップに対してフローが同じオペレーションを順次使用する場合、RAS オペレーションは、各ステップで必要なリソースを再利用せずに再作成します。

### サンプルフロー「Move Emails」がオブジェクトを正しくないメールボックスに配置する

アウトオブボックスのフロー「/LibraryOperations/Exchange/Exchange 2010/Samples/Emails/Move Emails」は、メールボックスの所有者以外のアカウントが選択された場合、選択されたメールボックスにオブジェクトを移動できません。

### オペレーション「SNMPv1 Get」が失敗する

オペレーション「SNMPv1 Get」は、V1 SNMP エージェントだけをサポートするデバイスに対しては動作しません。常にタイムアウトが報告されます。

### SFTP オペレーションが非パスワード認証に対して動作しない

SFTP オペレーションは非パスワード認証に対して動作しません。

パスフレーズレスキーを使用してリモートホストに認証しようとする、パスワード入力が空であるという理由で失敗します。

### 演算オペレーションが他の演算オペレーションで使用できない指数関数の結果を返す

00 Studio デバッガーがフリーズし、「Multiply」オペレーションが実行されず、次のエラーメッセージが表示されます。

実行中にエラーが発生しました。

**「Offset Time by」 オペレーションが解析不能の日付のために失敗する**

オペレーション「/Library/Utility Operations/Date and Time/Offset Time by」が解析不能の日付のためにエラーを発生します。

次の入力を空白に設定すると、オペレーションは正しく動作します。

localeLang =

localeCountry =

**「Set WMI Attribute」 オペレーションが空の Where 句に対して失敗する**

「Set WMI Attribute」オペレーションは、Where 句を指定しない場合、Java と .NET のどちらからの場合でも失敗します。

**「/Library/Operations/File System/Windows Only/Excel/Get Cell」 オペレーションを OLE オブジェクトを含む Excel ファイルに対して使用すると、失敗に終わる**

「/Library/Operations/File System/Windows Only/Excel/Get Cell」オペレーションを使用して Excel シートを読み取るフローを実行する場合、Excel ファイルに OLE オブジェクト(チェックボックスなど)が含まれていると、オペレーションは失敗し、エラーメッセージが表示されます。

**「Operating System Detector」で、ReturnResult の末尾に印刷不可能な文字が残される**

「Operating System Detector」オペレーションによって ReturnResult の末尾に印刷不可能な文字が残されます。返された値を一致の種類 RegEx とパターン".\*"で「String Comparator」オペレーションに渡そうとすると、不一致エラーが発生します。

**I18N:機能の問題: zip 作成オペレーションで「Windows Only」の下に作成されたファイルの展開された名前が JA 環境で正しくない。**

zip オペレーションで「Windows Only」の下に作成された展開後のファイルの名前が日本語環境で正しくありません。

**RAS が日本語版の Windows 2008、VISTA、または Windows 7 上で設定されている場合、Local Ping は正しく動作しません。**

この問題は、コードを次のように編集することで修正できます。

「Local Ping」オペレーションによって作成される一時 bat ファイルの先頭に、"chcp 437"を追加します。

"chcp.com 437"によってコードページが"OEM United States"に設定されるため、ping コマンドの出力がローカライズされなくなります。

<p><b>「Convert Object to Flow Variables」 オペレーションで、整数値が10進値に変換される。</b></p> <p>「/Library/Utility Operations/Containers/JSON/Convert Object to Flow Variables」 オペレーションは、整数値入力 (例 : 1、2、3) を10進値 (1.0、2.0、3.0) に変換します。</p>
<p><b>Date Parser が大きなミリ秒値を正しく変換しない</b></p> <p>「Date Parser」 オペレーション (/Library/Utility Operations/Date and Time/Date Parser) は、2<sup>32</sup> 以上の入力値を正しく変換しません。このため、出力日付の範囲が12/7/1969 ~ 1/25/1970 に制限されます。</p>
<p><b>Excel の「Get Row Index by Condition」 オペレーションで「org.apache.poi.hssf.record.RecordFormatException: Unable to construct record instance.」が発生する。</b></p> <p>「/Library/Operations/File System/Windows Only/Excel/」 の下の「Get Row Index by Condition」 オペレーションは、エラーメッセージが表示されて失敗し、Apache POI によって例外がスローされます。</p>
<p><b>SQL Server のバイナリデータが00でバイナリとして返されない</b></p> <p>種類がBinary(16)の列を持つSQL Server データベースで、00からクエリを実行すると、結果がデータベースに表示されるものと一致しません。</p>
<p><b>「Operations/Operating Systems/Windows/Remote Command Execution」 で不正なタイムアウトが観察される</b></p> <p>「Operations/Operating Systems/Windows/Remote Command Execution」 オペレーションでtimeout入力を使用すると、実際のオペレーションタイムアウトと使用した値が異なります。</p>
<p><b>コマンド入力として"EXEC" コマンドが指定されている場合、「SQL Command」 オペレーションが"outputText" 結果に対して値を返さない</b></p> <p>「/Library/Operations/Databases/JDBC/」 配下にある「SQL Command」 オペレーションは、コマンド入力として"EXEC" コマンドが指定されている場合、"outputText" 結果に対して値を返しません。オペレーションに入力としてSELECT コマンドが指定されている場合、outputText は正しい結果を返します。</p>
<p><b>Excel の「Get Row Index by Condition」 オペレーションで「org.apache.poi.hssf.record.RecordFormatException: Unable to construct record instance.」が発生する。</b></p> <p>「/Library/Operations/File System/Windows Only/Excel/」 の下の「Get Row Index by Condition」 オペレーションは、エラーメッセージが表示されて失敗し、Apache POI によって例外がスローされます。</p>

<p><b>「SQL Query All Rows」オペレーションが、queryCount リターン結果に対して値を設定しない</b></p> <p>「Library&gt;Operations&gt;Databases&gt;JDBC」にある「SQL Query All Rows」オペレーションを使用する場合、「queryCount」リターン結果フィールドに値は設定されません。</p>
<p><b>socketTimeout が HTTP クライアントベースのすべてのオペレーションに追加される</b></p> <p>9.0 の「Http Client Get」オペレーションには、新しい入力 socketTimeout があり、ドキュメントに記載されていますが、「/Library/Operations/HTTP Client/*」配下のその他の HTTP ベースのどのオペレーションにも、socketTimeout を許容するドキュメントの記載がありません。</p>
<p><b>Date Parser が大きなミリ秒値を正しく変換しない</b></p> <p>「Date Parser」オペレーション (/Library/Utility Operations/Date and Time/Date Parser) は、2<sup>32</sup> 以上の入力値を正しく変換しません。このため、出力日付の範囲が 12/7/1969 ~ 1/25/1970 に制限されます。</p>
<p><b>「Remote Command Execution」の "Result" が約 976,000 バイトに切り詰められる</b></p> <p>「/Library/Operations/Operating System/Windows/Remote Command Execution」の結果データが、約 976,000 バイトに切り詰められます。</p>
<p><b>「Validate XML Document」オペレーションを XML 名前空間をサポートするように変更</b></p> <p>「Validate XML Document」(「Library」=&gt;「Utility Operations」=&gt;「XML Processing」に存在)を使用する際に、XML ドキュメントに XML 名前空間タグ(xmlns)が含まれていると、エラーが発生します。同じ XML ファイルは、他の XML 解析ツールを使用するとスキーマに対して正しくチェックできます。</p>
<p><b>「HTTP PUT」オペレーションが Content-Length ヘッダーがないために失敗する</b></p> <p>「HTTP PUT」フローを使用する際に、HTTP 要求に対する “application/json” 形式の文字列の本文が送信されます。HTTP API サーバーは Content-Length ヘッダーが正しく設定されていることを予期していますが、これはクライアントによって自動的に設定されません。Content-Length ヘッダーが 8 ビットエンコードされた本文のバイト長によって設定された場合、Content-Length ヘッダーがすでに設定されているというエラーが発生します。</p>
<p><b>Apache POI ライブラリを利用可能な最新の安定バージョンにアップグレードする必要がある</b></p> <p>コンテンツパックに付属する Apache POI バージョンには、バグから生じる問題がいくつかあります。Apache POI の新しいバージョン (バージョン 3.8) にアップグレードすることでこれらの問題は修正されます。</p>



## IPv6 の制限

[IPv6][WMI] - 「Java」フォルダーの「WMI」オペレーションを IPv6 アドレスを使用して実行できない

「Java」フォルダーの「WMI」オペレーションを実行すると、IPv6 アドレスを使用している場合に失敗します。これはサードパーティの問題 (j-Interop) によるものです。

同じオペレーションを IPv4 アドレスで実行すると成功します。

次の Base コンテンツパックフローは「Operations/WMI/Java」に依存するため、IPv6 では動作しません。

- /Library/Operations/Operating Systems/Windows/Processes/Get Processes By Name
- /Library/Operations/Operating Systems/Windows/Processes/Get Process PID
- /Library/Operations/Operating Systems/Windows/Processes/Get Windows Processes
- /Library/Operations/Operating Systems/Windows/Processes/Get Process Counters
- /Library/Operations/Operating Systems/Windows/Samples/WMI Query
- /Library/Operations/Operating Systems/Windows/Processes/Get Task List

「Operations/Remote File Transfer/WebDAV」は、サードパーティの問題 (Jakarta Slide、Commons HttpClient) により IPv6 では動作しません。

「Operations/Powershell/Network/Configure Network Adapter」は、Windows Server 2012/Windows 8 より前の Windows バージョンでは IPv6 インタフェースを設定できません。

「Operations/Operating Systems/HP-UX」は IPv6 では検証されていません。

「Operations/Operating Systems/AIX」は IPv6 では検証されていません。

「Operations/Remote Command Execution/Remote Command」オペレーションの ROSH (Remote Opsware Shell) および GlobalShell (Opsware Global Shell) プロトコルは IPv6 では検証されていません。これらのプロトコルは HP Server Automation の製品と統合されており、これらの製品はまだ IPv6 で検証されていません。

「Operations/Remote Command Execution/Remote Command」の “rexec” プロトコルは、rexec サーバー (rexecd daemon) が IPv6 接続をサポートしないため、IPv6 をサポートしません。

非推奨のオペレーションは IPv6 では検証されていません。

